

交流の輪を広げて

地域における障がい者福祉

今月は、互いに支え合うまちづくりに取り組む「清田区障がい福祉関係者等ネットワーク会議」についてご紹介します。

詳細 保健福祉課福祉支援係

☎(889)2041



地域福祉力の向上

札幌市は、「障がいのある人もない人も、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現」を障がい福祉における基本理念として「さっぽろ障がい者プラン」を策定しています。

このプランでは、「地域社会の障がいのある人に対する理解促進」や「市民、地域、事業者との連携強化による地域の福祉力の向上」などを目指していますが、清田区においてもこの考えを基にまちづくりに取り組んでいる団体があります。

今回は、清田区障がい福祉関係者等ネットワーク会議の荒野耕司あらのこうじ会長に同会議の取り組みや障がい者福祉について、お話を伺いました。

障がい者視点のネットワーク

— ネットワーク会議はどのような団体でしょうか？

障がい者や関係者にとつての交流の場として平成13年に設立しました。障がいの有無にとられない連携づくりやまちづくりを目指しています。

— メンバーにはどのような方がいますか？

障がい者や親の会、区内の障がい